

2022

12月号

ちょうしんきん

景況レポート

Economic Report of Sales Territory



Choshi Shinkin Bank



1. 概 況

全体の景況感（全28店舗）

	好転	不変	悪化
前月と比較して	2	25	1
今後3か月程度の見通し	3	23	2

【漁業】

銚子港の令和4年11月の総水揚げ数量は2,038トンで、前月比▲35トン、前年同月比▲4,020トンとなった。総水揚げ金額は925百万円で、前月比+251百万円、前年同月比▲479百万円となった。

【農業】

旭地区のキュウリ・トマトの価格相場は、以下の通り。

キュウリ(等級:秀)1本当たり 高値 25円(前月比▲25円) 安値 5円(前月比▲5円)

トマト(LMサイズ)4kg当たり 高値2,000円(前月比▲200円) 安値300円(前月比▲200円)

キュウリ・トマト共に生育良好が影響し市場供給過多傾向。価格については前月比で下落しており、冬場に向け燃料費の増加が予想され、農業者の収益悪化が懸念される。

当該地では新型コロナウイルス再流行の可能性が高く、外食産業の需要後退も懸念される。

【商業】

自家農園の新鮮野菜や地元食材をふんだんに使う農家レストラン「お野菜クリニック とまりこ食堂」が、千葉県銚子市茶畑町にオープンした。店名には「クリニックのようなレストランにしたい」と、食を通じて多くの人の健康をサポートしたいという思いが込められている。

レストランは、野菜ソムリエ資格のあるオーナーが妹と切り盛り。オーナー夫妻と両親が手がける農園では有機肥料を使うなど土作りからこだわり、トマトやセロリなど年間約50種類の野菜を育てている。農園で採れた旬のものを最低限の調味料で味付けするなど、食材の力を引き出した料理を提供する。




11月17日に営業開始したレストランは農園近くに店舗を建設。採れたてを使うためメニューの内容は日替わりで、野菜のほか銚子で水揚げされた魚や県内産豚肉といった食材を料理に活用し提供している。オーナーは「銚子や千葉の皆さんの健康につながる」と話した。

【観光業】

旭市の魅力を伝える観光モニターツアーが市内で行われた。豚肉産地を生かした体験型のコースを設定し、都内や市外の参加者8人がバーベキューや豚革を使った手作り体験を楽しんだ。

ツアーは食と体験を通じて地域資源を発信する取り組みで、市観光物産協会が観光庁事業の補助金を活用して開き、地域活性化事業を手掛ける会社や旅行会社などが協力した。断崖の屏風ヶ浦を望む海岸では地元でブランド化を図る豚革「九十九里レザー」を使って革の風合いを出す作業を体験。「皮まで全部使い切りたい」とのブランド化を進める背景を聞き、参加者は潮風を浴びながら手を動かした。海岸そばの民宿では銘柄豚と有機野菜をバーベキューで堪能した。飼料のこだわりや苦労話、お勧めの食べ方をそれぞれ地元生産者が紹介し、参加者は熱心に聞き入った。

<業種別天気図>

全 体	漁 業	水産加工業	農 業	商 業
				
建 設 業	観 光 業	不 動 産 業	養 豚 業	自 動 車
				

(前月と比較した当月の各業種の景況感を天気図で表示してみました。)



2. 主要業種別動向

■ 漁業・水産加工業

銚子港の令和4年11月の総水揚げ数量は2,038トンで、前月比▲35トン、前年同月比▲4,020トンとなった。総水揚げ金額は925百万円で、前月比+251百万円、前年同月比▲479百万円となった。

勝浦港の令和4年11月の総水揚げ数量は243トンで、前月比▲154トン、前年同月比▲141トンとなった。総水揚げ金額は216百万円で、前月比▲6百万円、前年同月比▲28百万円となった。

波崎の巻き網船団は、八戸沖でサバ中心の操業となるが魚影がなく、水揚げは低水準。

水産加工業においては、サバの来遊が早まる予想に期待したものの例年通り遅れており、在庫不足の状況や魚体の生育も悪いため加工用は高値推移となる予想。

日本の魚食の祭典「第8回Fish-1グランプリ」(国産水産物流通促進センター構成員JF全漁連主催)が11月27日、東京・日比谷公園で開催された。来場者と審査員が投票する2つのコンテストのうち、国産水産物加工品部門ではJF千葉漁連の「銚子つきんめ煮炙りの炊込みご飯」がグランプリに輝いた。

国産水産物加工品コンテストは「JFおさかなマルシェギョギョいち」で販売中あるいは販売予定の水産加工品が対象で、審査員による書類選考を経て5団体が選出された。グランプリ商品は、2018年の第6回大会プライドフィッシュ料理コンテストで最優秀賞を獲得した「銚子つきんめ煮炙り丼」を家庭でも食べられるよう、銚子の漁連加工場で再現した。千葉漁連の専務は「地元醤油を使い、浜のかあちゃんらとレシピを考え作り上げた商品。今回は炊き込みご飯で提案した」と述べ、多彩な魚介類が水揚げされる銚子への来訪を呼び掛けた。

銚子魚市場水揚げ

銚子市漁業協同組合調べ

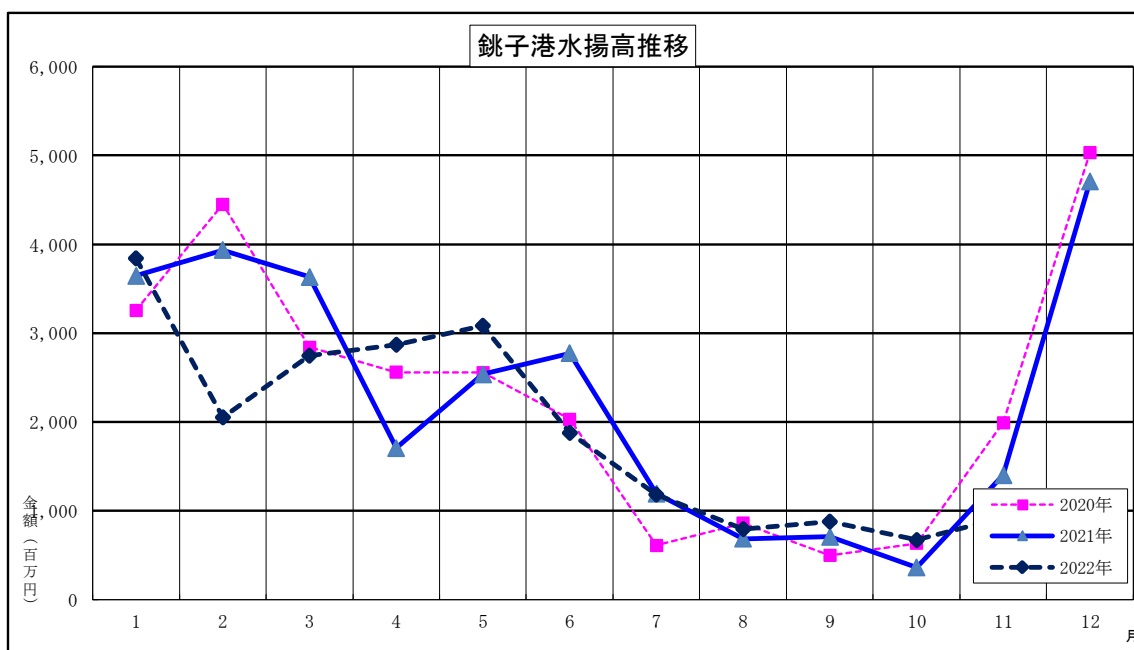
種類	区分	数量 (トン)			金額 (千円)		
		2022年11月	前年同月	前年同月比	2022年11月	前年同月	前年同月比
鰯		0	0	0	0	0	0
鯖		424	5,195	▲ 4,771	60,216	742,380	▲ 682,164
鰹		0	59	▲ 59	0	12,584	▲ 12,584
鰹・鯖		280	271	9	315,536	337,103	▲ 21,567
(内鰹一本釣)		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
秋刀魚		0	18	▲ 18	0	12,307	▲ 12,307
底曳		164	216	▲ 52	125,707	127,487	▲ 1,780
その他		1,170	299	871	423,509	171,688	251,821
合計		2,038	6,058	▲ 4,020	924,968	1,403,549	▲ 478,581

前月比	数量	98.31%
	金額	137.20%
前年同月比	数量	33.64%
	金額	65.90%

水揚げ日数



	2022年11月	2022年10月	2021年11月
鰯	0日	0日	0日
鯖	3日	6日	5日
鰹	0日	5日	10日
鰹・鯖	17日	14日	19日
(内鰹一本釣)	0日	0日	0日
秋刀魚	0日	0日	1日
底曳	19日	12日	20日
その他	24日	25日	24日



■ 農 業

旭地区のキュウリ・トマトの価格相場は、以下の通り。
 キュウリ（等級：秀）1本当たり 高値 25円（前月比▲25円） 安値 5円（前月比▲5円）
 トマト（LMサイズ）4kg当たり 高値2,000円（前月比▲200円） 安値300円（前月比▲200円）
 キュウリ・トマト共に生育良好が影響し市場供給過多傾向。価格については前月比で下落しており、冬場に向け燃料費の増加が予想され、農業者の収益悪化が懸念される。
 当該地では新型コロナウイルス再流行の可能性が高く、外食産業の需要後退も懸念される。

横芝光町特産のひかりねぎの相場は1箱(5.5kg)2,160円～1,510円で取引された。
 価格相場は先月(10月)と同水準での推移となる。

銚子地区のキャベツ・青首大根の価格相場は、以下の通り。
 キャベツ 買値 450円、売値 650円
 青首大根 買値 300円、売値 600円
 どちらも平年より安値で推移。天候が良好で豊作となり、単価は下落。暖冬の影響もあり、例年通りの季節需要は期待できないのが現状。

■ 商 業

自家農園の新鮮野菜や地元食材をふんだんに使う農家レストラン「お野菜クリニック とまりこ食堂」が、千葉県銚子市茶畑町にオープンした。店名には「クリニックのようなレストランにしたい」と、食を通じて多くの人の健康をサポートしたいという思いが込められている。

レストランは、野菜ソムリエ資格のあるオーナーが妹と切り盛り。オーナー夫妻と両親が手がける農園では有機肥料を使うなど土作りからこだわり、トマトやセロリなど年間約50種類の野菜を育てている。農園で採れた旬のものを最低限の調味料で味付けするなど、食材の力を引き出した料理を提供する。

11月17日に営業開始したレストランは農園近くに店舗を建設。採れたてを使うためメニューの内容は日替わりで、野菜のほか銚子で水揚げされた魚や県内産豚肉といった食材を料理に活用し提供している。オーナーは「銚子や千葉の皆さんの健康につながる」と話した。

山武市蓮沼の酒蔵「守屋酒造」で11月、日本酒の新酒の仕込みが始まった。12月初旬の出荷を目指し、原料米を蒸したものを発酵させている。蔵主は「おいしいお酒を(消費者に)届けたい」と話した。

守屋酒造は1893年(明治26年)創業。日本酒「舞桜」などの看板商品があるほか、酒蔵の見学ツアーなども開催する。新型コロナウイルス感染拡大の影響で途絶えていた外国人観光客が今秋復調し、タイやベトナム、オーストラリアなどからの観光客が再び訪れているという。日本人観光客も戻ってきた。

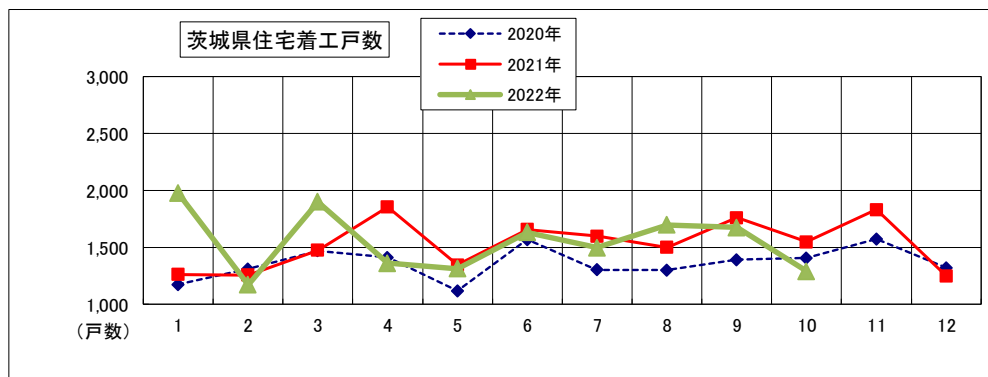
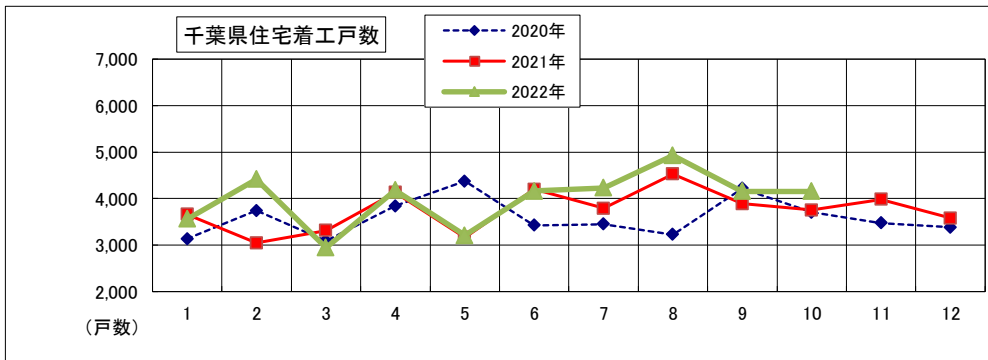
今年は原料米の出来が良く、搾る作業や瓶詰めを経て年内には新酒を消費者に届けたいという。

■ 建設業

令和4年10月の住宅着工戸数は、千葉県で4,154戸と前年同月比110.7%(+401戸)、茨城県では1,289戸で前年同月比83.3%(▲259戸)となった。
前月(令和4年9月)比では、千葉県で▲3戸、茨城県では▲385戸となった。

千葉県・茨城県の住宅着工推移は以下のとおり。

	2022年10月	前月戸数	増減
千葉県	4,154	4,157	▲3
茨城県	1,289	1,674	▲385



国土交通省統計情報より

■ 観光業

旭市の魅力を伝える観光モニターツアーが市内で行われた。豚肉産地を生かした体験型のコースを設定し、都内や市外の参加者8人がバーベキューや豚革を使った手作り体験を楽しんだ。

ツアーは食と体験を通じて地域資源を発信する取り組みで、市観光物産協会が観光庁事業の補助金を活用して開き、地域活性化事業を手掛ける会社や旅行会社などが協力した。断崖の屏風ヶ浦を望む海岸では地元でブランド化を図る豚革「九十九里レザー」を使って革の風合いを出す作業を体験。「皮まで全部使い切りたい」とのブランド化を進める背景を聞き、参加者は潮風を浴びながら手を動かした。海岸そばの民宿では銘柄豚と有機野菜をバーベキューで堪能した。飼料のこだわりや苦労話、お勧めの食べ方をそれぞれ地元生産者が紹介し、参加者は熱心に聞き入った。

満月が地球の影にすっぽり入る美しい皆既月食が現れた11月8日夜、成田空港発着の旅客機に搭乗して上空から観賞する周遊チャーターフライトが行われた。空港がある成田の新しい魅力を発掘しようとして企画され、約140人の参加者は“月に最も近い場所”で開かれた天体ショーを楽しんだ。

約442年ぶりに皆既月食と天王星が月に隠れる「天王星食」が共演する特別な日の開催となり、心地よい空間で世紀の瞬間を眺めてもらおうと、空港と機内でジャズの生演奏を披露する演出もあった。参加者を乗せた全日本空輸の旅客機は、月の一部が欠ける「部分食」が始まった午後6時過ぎに離陸。通常の運航より高い4万500フィート前後の高さを飛び、窓枠から見える光景を楽しんだ。岐阜県上空で皆既月食のピークを迎えると、「きれい」「はっきりと見える」などとどよめく声があがった。

■ 不動産業

都内企業の進出により、千葉市内の物件については従来の金額より3割程度値上がりしている状況。近隣市内では四街道市、佐倉市については相続関連の商品物件が増えてきている。船橋市、柏市、松戸市方面の不動産売買は引き続き活発に動いており、隣接する県からの移住者にも人気がある。

茂原市では、コロナ禍により東京より1時間程度で広い中古物件は引き合いが続いている。オリンピック、サーフィンのブランド化で一宮町付近が人気であるが、リモート勤務できる人は茂原市近辺まで探している。しかし、物価上昇の影響を受けており購買意欲は減退している様子。

■ 養豚業・畜産業

令和4年11月の東京市場での豚枝肉(上)卸売価格相場は567円/kg(速報値)となり、前月比▲46円/kg、前年同月比で+75円/kgとなった。

鶏卵(Mサイズ)卸売価格は262円/kgとなり、前月比+23円/kg、前年同月比で+55円/kgとなった。

独) 農畜産業振興機構 / J A全農たまご(株) 統計情報より

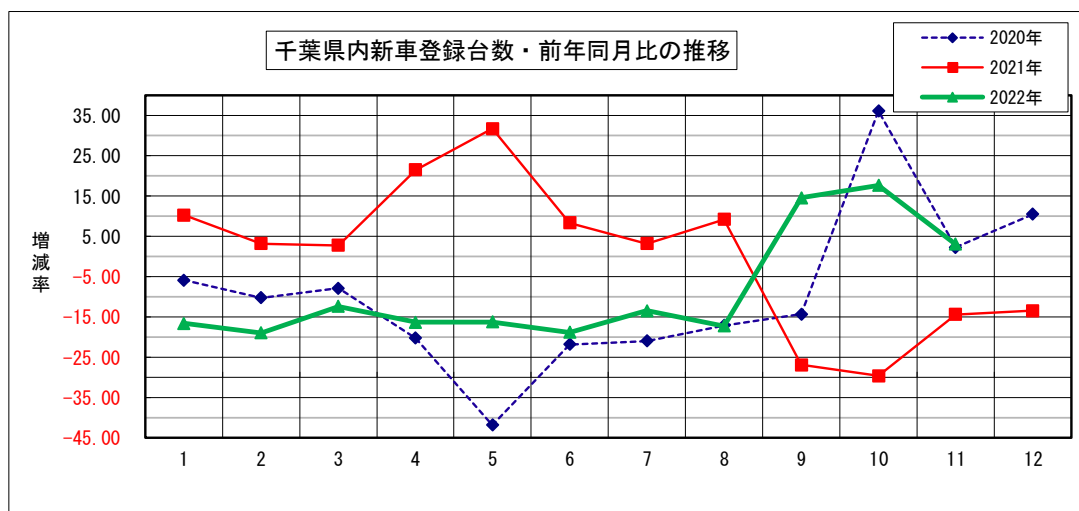
■ 自動車ディーラー

令和4年11月における千葉県内の登録車新車販売台数(軽自動車除く)は前年同月比3.1%増の10,684台(前年同月10,366台)と、3カ月連続で前年実績を上回った。

占拠率は1位がトヨタ(43.0%)、2位はホンダ(12.6%)、3位は日産(10.3%)となった。

千葉県内新車登録台数状況(軽自動車を除く)

		2022年11月	前月	前月比	前年同月	前年比
乗用	普通	5,569	5,251	106.06%	5,180	107.51%
	小型	3,556	3,382	105.14%	3,595	98.92%
	小計	9,125	8,633	105.70%	8,775	103.99%
貨物	普通	516	354	145.76%	522	98.85%
	小型	717	620	115.65%	796	90.08%
	小計	1,233	974	126.59%	1,318	93.55%
特殊等	特殊	314	254	123.62%	255	123.14%
	バス	12	25	48.00%	18	66.67%
	小計	326	279	116.85%	273	119.41%
総合計		10,684	9,886	108.07%	10,366	103.07%



一社) 日本自動車販売協会連合会 千葉県支部調べ

3. その他の動向

求人

有効求人倍率

(単位：倍、増減はポイント)

	2022年10月	前月	増減	前年同月	増減
銚子公共職業安定所管内	0.94	0.86	0.08	0.86	0.08
茂原公共職業安定所管内	0.92	0.91	0.01	1.01	▲ 0.09
いすみ公共職業安定所管内	1.07	0.97	0.10	0.99	0.08
成田公共職業安定所管内	0.97	0.92	0.05	0.73	0.24
佐原公共職業安定所管内	0.85	0.83	0.02	0.83	0.02
千葉県	1.03	0.98	0.05	0.85	0.18

有効求人倍率＝有効求人数÷有効求職者数

ハローワーク銚子/茂原/いすみ/成田/佐原 調べ

倒産

【令和4年11月度】

2022年(令和4年)11月度の企業倒産件数は22件、前月比5件増(29.4%増)、前年同月比3件増(15.7%増)となり、平成以降の11月単月では2018年(平成30年)の20件に次いで8番目に少ない件数となった。

産業別では『建設業』が7件(構成比31.8%)で最多、次いで『製造業』が4件(構成比18.2%)となった。

資本金別では『300万円以上(1000万円未満)』が11件(構成比50.0%)で最多、次いで『300万円未満』が5件(構成比22.7%)となった。

従業員数別では『5名未満』が16件(構成比72.7%)で最多、次いで『10名未満(5名以上)』が5件(構成比22.7%)となり、これまで同様、小規模事業者の倒産が目立った。

原因別では『業績不振』が17件(構成比77.3%)で最多となった。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて倒産した「新型コロナウイルス関連倒産」については8件(負債1000万円未満の小口倒産を含めると10件)発生した。

倒産形態別では『破産』が19件(構成比86.4%)となり、再生型の法的手続きは1件発生した。

感染第7波の到来後も緊急事態宣言等の行動規制は行わず、感染第8波が懸念されるなかでも政府は社会経済活動を優先。水際対策の緩和、飲食・旅行事業支援など経済活性化に向けた取り組みを進めている。

しかし、中国のゼロコロナ政策の影響からインバウンド需要はコロナ禍前には遠く及ばない状況で、また、ロシアとウクライナの武力衝突を背景とした物価高やエネルギーコスト高騰の影響で個人消費も盛り上がり欠けている。さらに、東京商工リサーチが10月に実施したアンケート調査によると、今年の「忘・新年会」について「開催しない」と回答した企業(千葉県)は60.5%に及んだ。前年同時期と比べて12.7ポイント減少したものの、コロナ禍の収束見通しが立たないなか、依然として半数以上の企業が慎重な対応を続けている。

物価高やエネルギーコストの高騰は企業活動にも深刻な影響を及ぼし始めており、建設業では工期中に資材価格が上昇したことで不採算工事に終わるケース、製造業では原材料価格の高騰に加え、製造工場における光熱費等の負担増が収益を大きく圧迫。多店舗展開するサービス業でも製造業と同様の傾向を示しており、前述したアンケート調査において原価上昇に対し「全く価格転嫁できない」と回答した企業は50.6%、上昇分の全てを価格転嫁できているケースは全体のわずか9.1%にとどまった。

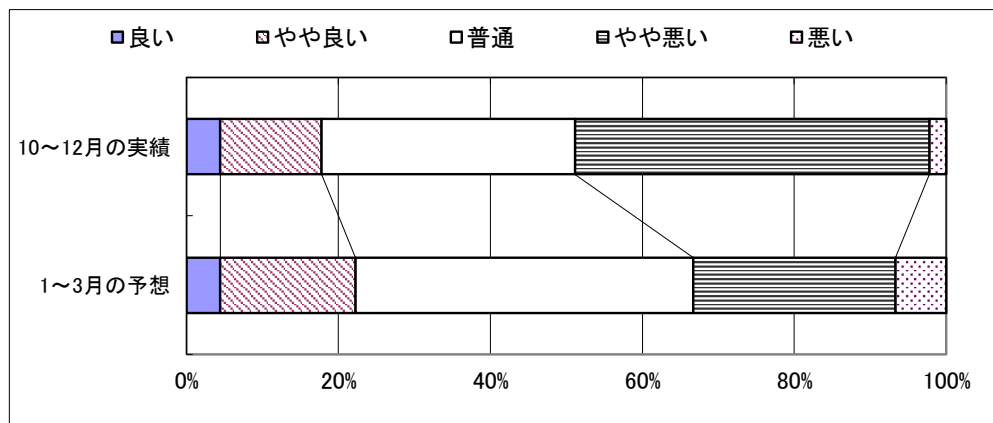
コロナ禍初期とは異なる向かい風が強まるなか、過剰債務を抱えた中小企業にとって借入金返済と収益性改善のハードルは高く、経済産業省が中心となって策定された「中小企業活性化パッケージNEXT」の枠組みを活かし切れないケースも少なくないものとみられる。ロシアによるウクライナ侵攻が長期化の様相を呈するなか、世界同時不況のリスクも見え隠れするなど、先行きの不透明感はさらに強まっており、しばらくは事業者の実情に沿った継続的かつ多面的な支援が必要であろう。

(株)東京商工リサーチ・千葉県内企業倒産状況より

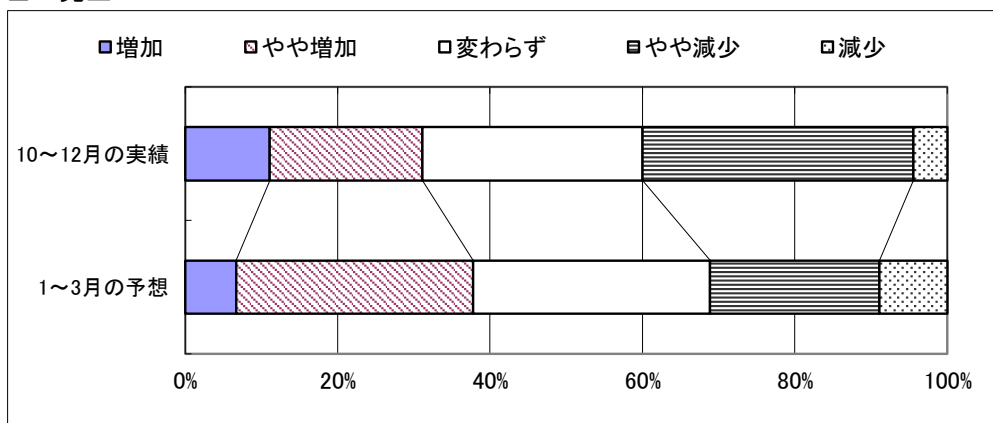
特集 第190回全国中小企業景気動向調査 当金庫分集計速報

本調査は全国各地の信用金庫において、年4回、四半期ごとに対象先企業の景気動向を聴き取り調査し、信金中央金庫が分析・集計しているものです。
 当金庫の対象先は営業店23店舗の顧客48先で、内訳は製造業19先、卸売業8先、小売業7先、サービス業4先、建設業6先、不動産業4先となっています。全国の集計結果は後日公表されますが、今回は12月初旬に行った当金庫の調査対象先の集計を、速報として掲載します。

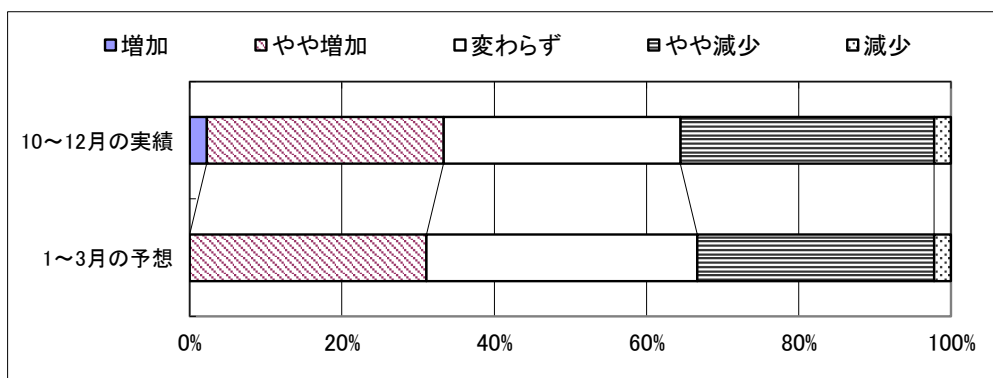
■ 業況



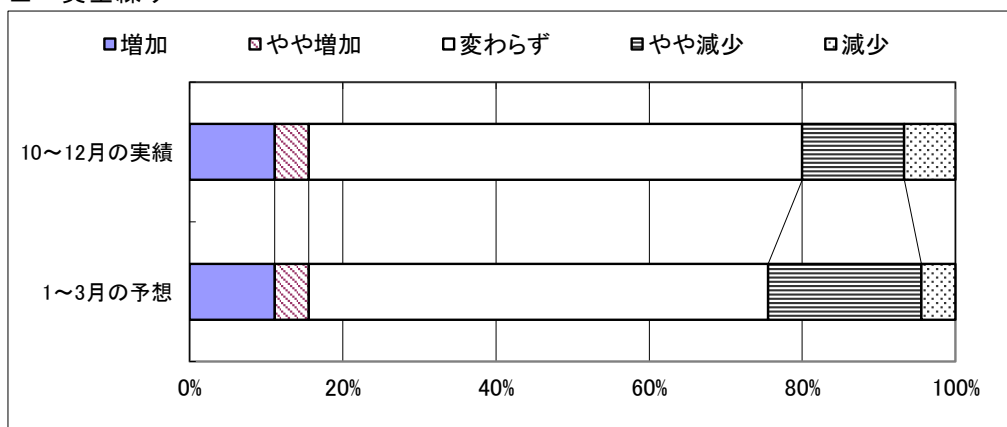
■ 売上



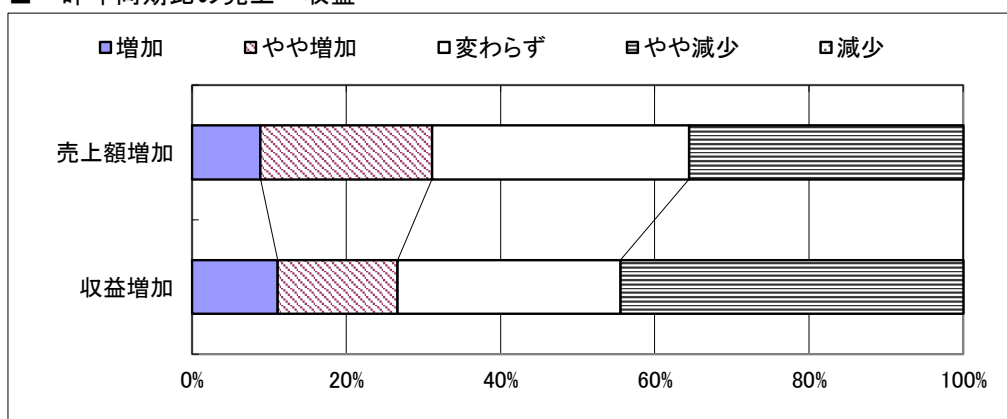
■ 収益



■ 資金繰り



■ 昨年同期比の売上・収益



経営上の問題点（業種別上位項目）

製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
<ul style="list-style-type: none"> ■ 原材料高 ■ 売上の停滞・減少 ■ 人手不足 ■ 利幅の縮小 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 売上の停滞・減少 ■ 販売商品の不足 ■ 仕入先からの値上げ要請 ■ 人件費の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 売上の停滞・減少 ■ 仕入先からの値上げ要請 ■ 人手不足 ■ 同業者間の競争の激化 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 売上の停滞・減少 ■ 人手不足 ■ 利幅の縮小 ■ 材料価格の上昇 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 材料価格の上昇 ■ 人手不足 ■ 下請けの確保難 ■ 天候の不順 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 売上の停滞・減少 ■ 同業者間の競争の激化 ■ 大手企業との競争の激化 ■ 商品物件の不足

当面の重点経営施策（業種別上位項目）

製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
<ul style="list-style-type: none"> ■ 販路を広げる ■ 経費を節減する ■ 人材を確保する ■ 情報力を強化する 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 販路を広げる ■ 経費を節減する ■ 情報力を強化する ■ 提携先を見つける 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 品揃えを改善する ■ 売れ筋商品を取扱う ■ 経費を節減する ■ 仕入先を開拓・選別する 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 経費を節減する ■ 販路を広げる ■ 人材を確保する ■ 労働条件を改善する 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人材を確保する ■ 情報力を強化する ■ 経費を節減する ■ 技術力を高める 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 情報力を強化する ■ 販路を広げる ■ 経費を節減する ■ 宣伝・広告を強化する

銚子市漁業協同組合
銚子商工会議所
株式会社 東京商工リサーチ
国土交通省 統計情報
一般社団法人 日本自動車販売協会連合会 千葉県支部
独立行政法人 農畜産業振興機構
JA全農たまご 株式会社
ハローワーク銚子
ハローワーク茂原
ハローワークいすみ
ハローワーク成田
ハローワーク佐原
(順不同)

※ その他掲載データは当金庫独自の調査によるものです。

発行；銚子信用金庫
編集；地域サポート部
住所；〒288-8686 銚子市双葉町5-5
電話；0479-21-5522
FAX；0479-24-4591
E-mail；suishin@choshi-shinkin.co.jp
URL；http://www.choshi-shinkin.co.jp



ちょうしんきん 相談会・セミナーのご案内



ちょうしんきんでは、(一社)千葉県中小企業診断士協会と連携した経営相談会や、千葉県事業承継・引継ぎ支援センターと連携した事業承継に関する個別相談会を、営業エリア内の各地で開催しています。

また、法律や税務等に関する無料相談会を本店で毎月開催しています。いずれも、ご参加・ご相談は無料です。お気軽にご参加ください。

経営相談会

- ◆2022年6月15日(水)——開催場所:本店 ※終了
- ◆2022年8月17日(水)——開催場所:旭中央支店 ※終了
- ◆2022年10月19日(水)——開催場所:東金支店 ※終了
- ◆2022年12月14日(水)——開催場所:大原支店 ※終了
- ◆2023年2月15日(水)——開催場所:神栖支店

事業承継に関する個別相談会

- ◆2022年7月20日(水)——開催場所:大原支店 ※終了
- ◆2022年9月21日(水)——開催場所:神栖支店 ※終了
- ◆2022年11月16日(水)——開催場所:本店 ※終了
- ◆2023年1月18日(水)——開催場所:旭中央支店
- ◆2023年3月15日(水)——開催場所:東金支店